

いくさか議会だより No.173

令和8年3月定例会号 2026.4.23 発行



LED照明・省エネ機器設置



木質チップボイラー



やまなみ特集
16ページ



厨房改修



令和8年度当初予算特集……………P2,3
脱炭素事業特集……………P4,5
総務建経常任委員会報告……………P6
こんなことが決まりました：総務…P7

社会文教常任委員会報告……………P8
こんなことが決まりました：社文…P9
村政そこが知りたい！！……………P11-13
やまなみ荘改修特集……………P16

当初予算の審議では、地域の課題や将来を見据えた多角的な議論が交わされました。議会としても、その役割を十分に果たせるよう、引き続き丁寧な審議と情報発信に努めてまいります。

藤澤議長



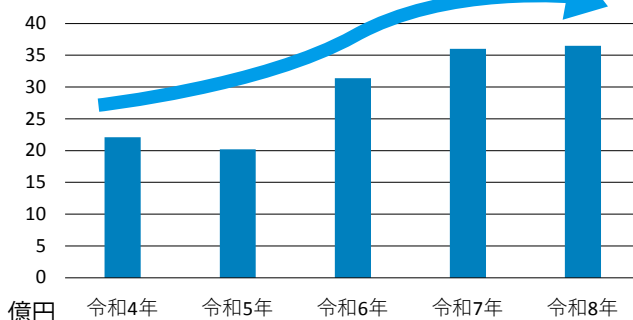
歳入・歳出 36億4900万円（前年度比101.3%）

村民の所得向上！
個人住民税 5822万円（前年度比105%）
法人住民税 631万円（前年度比128%）

令和5年4月に環境省の脱炭素先行地域に採択され、本格的に工事が始まった令和6年から当初予算が大きく増えています。

令和8年度は債務負担行為（多年度に渡る事業を行う時の予算）8億5998万円かけて行うマイクログリッド事業が完成します。

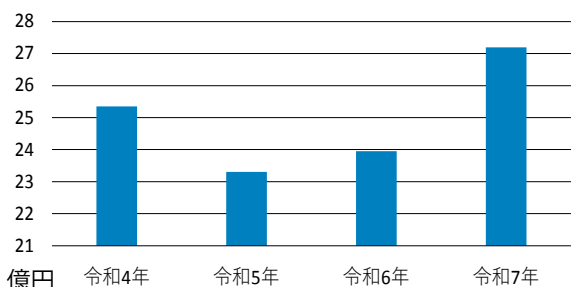
◆一般会計予算推移◆



島議員

令和10年度までの脱炭素事業に今後も大きな予算が組まれる。地方債残高にも注視していきたい。

◆地方債現在高◆



令和5年に繰上げ償還（借金を前倒して返す）をしたので、地方債現在高は約23億3千万円に減りましたが、公債費負担比率（一般財源に占める公債費の割合）が20.1%となりました。公債費負担比率は一般的に15%以上で警戒、20%以上で危険と言われる数値ですが、分母が少ない小さな自治体では、少しの変化で数値に影響が出ます。令和6年度の数値は15%になりました。



ポイント◆過疎対策事業債（地方債の中の1つ）◆

生坂村は、過疎地域に指定された自治体ができる有利な起債、過疎対策事業債（略して過疎債）が使えます。例えば100万円借りたら、70万円は交付税措置（国があとで交付税として返してくれる）されるので、村が本当に負担するのは30万円です。この過疎債を活用し、いろいろな事業を行っています。令和8年度に村が借りていい過疎債の上限額は4億7390万円です。

主な新規事業

総務費

村制70周年記念式典 381万1千円

CATV高速大容量改修工事 1億8432万1千円

民生費

重層的支援体制整備事業の導入 1,984万9千円

高齢者補聴器補助 30万円

保育園環境整備事業 404万6千円

（排水路の改修、プール施設改修、電話設備改修）



平田議員

重層的支援体制整備事業は、複合的課題を抱える世帯に問題解決のための支援をする制度で重要と考える。

重層的支援体制整備事業→P9へ



市川議員

補聴器補助開始へ。導入効果をも高めるため広報での啓発と情報提供が重要。

主な新規事業続き

衛生費

遠隔医療相談アプリの導入活用	143万円
アピランスケア助成金	8万円
木質バイオマスプラント整備	2970万円
地区集会所等省エネ機器導入補助	702万9千円

農業費

南部交流センター施設改修工事	330万円
畑作等推進整備事業（南平工区）	2440万円


土木費

道路交通安全整備事業費	192万円
道路防災関連工事	3413万7千円

消防費

込地公民館除去工事	385万円
-----------	-------

継続事業：地域活性型企業人制度 946万3千円
 都市部企業の専門人材にデジタル技術を学ぶ




「医療相談アプリ」の導入が決定。400名超えの医師が登録され対応。診療前の不安軽減に期待。

進藤議員

脱炭素事業特集→P4,5へ


教育費

高校生の電車通学費補助事業	90万円
学校長集金の公金化	167万4千円
小学校通信設備改修工事	130万4千円
小学校スクールバス購入	1210万円
中学校通信設備改修工事	356万9千円
中学校部活の地域展開	90万8千円



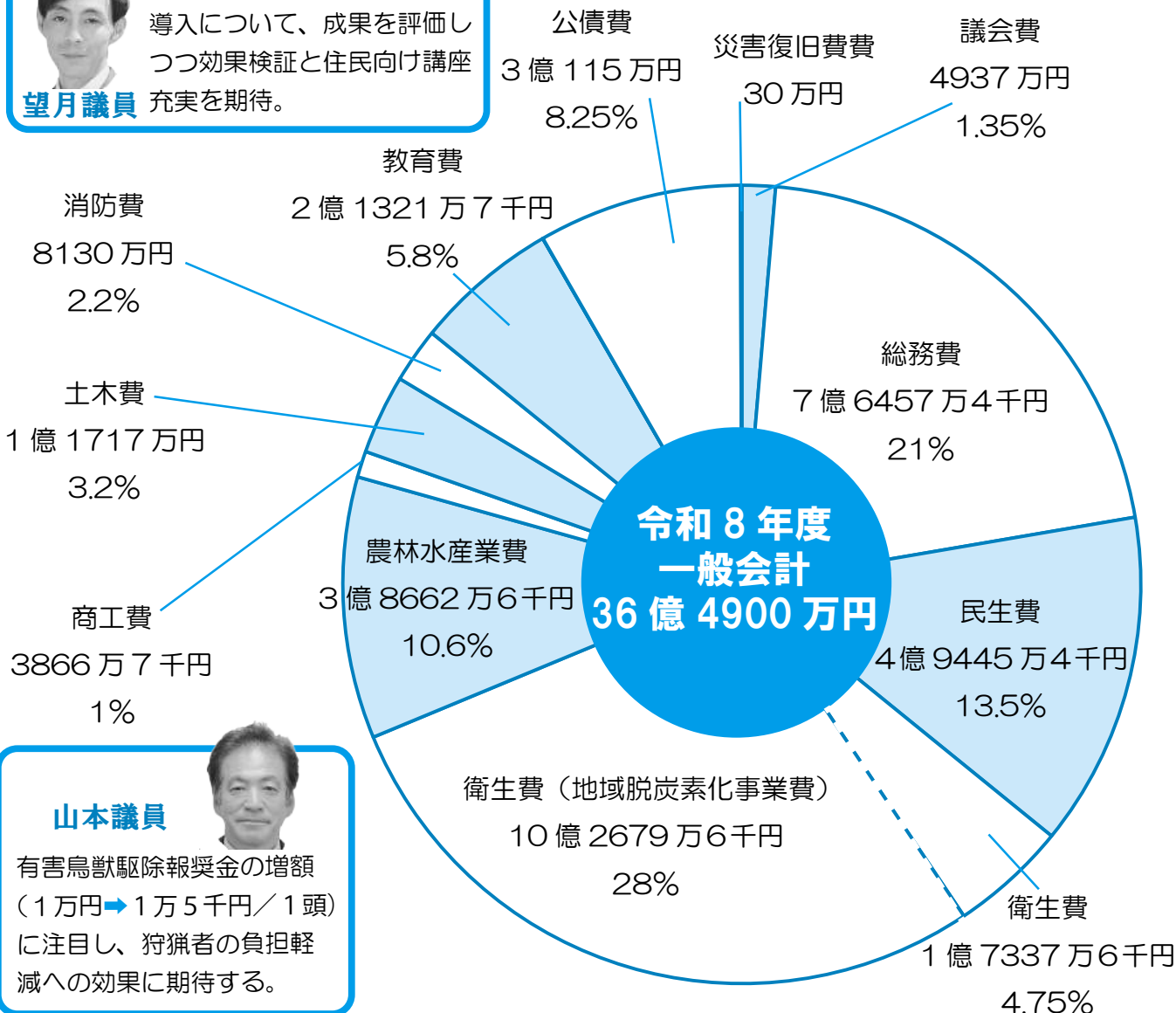

一般質問で提案したスクールバスの更新は現場の声が予算化された。引き続き現場目線を大切にしたい。

太田議員



地域活性型企業人制度のAI導入について、成果を評価しつつ効果検証と住民向け講座充実を期待。

望月議員

有害鳥獣駆除報奨金の増額（1万円→1万5千円／1頭）に注目し、狩猟者の負担軽減への効果に期待する。

山本議員

生坂村の未来を担う事業の現在地

令和5年度に環境省の脱炭素先行地域に採択された生坂村。

本特集では、令和8年度予算の概要と常任委員会での主な審査結果をお伝えします。

災害に強い電力網を地域につくる!

草尾・上野地区に蓄電池 500kWh・太陽光発電設備 70kW を整備し、停電時は中部電力系統から切り離して地区内へ電力を供給します。中部電力パワーグリッドと協議の結果、当初の自営線方式から中部電力既存配電線を活用する方式へ変更。太陽光発電設備設置・維持管理は㈱いくさかてらすが担う計画です。



村の木材を地域エネルギーに変える拠点へ

平林建設㈱の敷地を借り受け、屋根付きのチップ保管ヤードを3か所整備します。チップは1トン2万5000円(税抜き)を想定。品質と安定供給を確保した上で契約する方針です。木質ペレット製造を令和9年度以降行うことが検討されています。



学校からはじまる省エネの取り組み

生坂小・中学校にLED照明と冷暖房設備の改修を行います。体育館エアコンについては、文科省が整備を推進しており、本事業で対応するか文科省補助を活用するか検討中です。



村民生活に身近な省エネ支援メニュー

省エネ機器補助2,250万円を計上。木質ストーブ(補助1200万円)は令和8年度は家庭向けを先行します。役場のEV充電器は公用車3台に対し2台のため1台増設、下生坂・宇留賀にV2H(電気自動車と家をつなぐ)充電器を2基設置予定。

事業を支える推進体制

事務局サポート業務については、会計年度任用職員1名を継続雇用、また、プロポーザル方式で外部業者を募ります。

本議会での討論：

反対：草尾ぶどう園のマイクログリッド事業費3億円の内訳が不明で判断できない。材木や木質チップの置き場は本来事業者が整備すべきでは。また、設置して確実に使われるものにお金を使って欲しい。

賛成：国の補助制度に則り、採択申請の内容に基づいて進められている事業であり、村のエネルギー自立と災害時の電力確保に資すると判断し、賛成する。

令和8年度 脱炭素事業の主なお金の使いみち

① 自営線マイクログリッド（草尾・上野地区）

中部電力既存配電線を活用（託送方式）。蓄電池 500kWh・切り替え装置を整備。

事業費：3億484万8千円 補助率 3/4 補助額：2億478万3千円

② 生坂ダム小水力発電

生坂ダム自主放流水を活用した小水力発電所を建設。

令和10年竣工予定。（総額5億9,235万円）

事業費：9,540万円 補助率 3/4 補助額：6,504万5千円

③ 公共施設省エネ改修（小・中学校）

生坂小・中学校にLED照明・冷暖房設備改修を実施。

事業費：2億1,002万3千円 補助率 2/3

補助額：1億2,127万2千円

④ 充電設備（EV）

普通充電器1台（役場）・V2H（電気自動車と家をつなぐ）充電器2基（下生坂・宇留賀）を設置予定。

事業費：332万7千円 補助率 3/4 補助額：226万8千円

⑤ 公共施設ペレットストーブ

公民館等の公共施設5か所に設置（保育園・学校含め協議中）。

事業費：1,100万円 補助率 3/4 補助額：750万円

⑥ 木質バイオマス製造プラント（ヤード整備）【新規】

平林建設(株)敷地に屋根付きヤードを3か所整備し、チップの製造拠点とする。

事業費：2,970万円 補助率 3/4 補助額：2,025万円

⑦ いくさかてらす補助金（PPA事業等）

民家・民間・公共施設・オフサイトへの太陽光・蓄電池設置、デマンドレスポンス※に対応。

補助額：3億246万5千円 補助率 2/3・3/4

全体事業費：4億6,822万6千円（差額は銀行融資により対応します。）

※デマンドレスポンスとは…使う電力・発電する電力を効率よく運用するしくみ。



住民の声

- 太陽光発電導入後、実際の電気代がどう変わるか1年後の効果を知りたい。
- 将来的な維持費や負担、災害時の効果はどの程度あるのか、「龍と子」などでもっと詳しく伝えてほしい。
- 「電力の地産地消」への取り組みは、将来への安心につながる。
- 小水力発電は評価できるが、工事期間中の通学路確保など生活への影響を丁寧に見てほしい。
- 村が何をやっているのか、どこまでできたのか等よく分からない。
- 補助金を使ってLED照明に替えたいが、高額にならないか心配。
- 公民館のEV充電設備は、お金を貰って一般の人も充電できるようにしては？

議会から ひと言

脱炭素事業は、エネルギーの安定供給や災害時の備えとして村民生活に大きく関わる事業です。議会は費用対効果や運営体制、村民負担のあり方について引き続き行政に説明を求め、事業の進捗と効果を検証していきます。

総務建経常任委員会

連合審査

生坂村過疎地域持続的発展計画の変更について

問 パブリックコメントの周知期間が10日間と短い。改善を要求する。
答 周知方法と併せて改善を進める。



一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案

問 高速道路利用料金は通勤費として認められるか。
答 規定にないため認められない。

令和8年度生坂村一般会計予算

総務課関係

問 村政70周年式典の概要は。
答 令和8年10月31日、会場はB&G体育館を使用する予定。
問 村長文際費の減額理由は。

連合審査

答 県関連のPR活動縮小のため。村の大型バスが導入から30年を迎える。今後の維持方針は。

答 老朽化による修繕費増と部品調達困難からレンタル費用を計上している。今後は廃車も含め検討する。

問 新たに役場に委嘱する産業医の内容は。

答 ストレスチェックカウンセラーが月1回訪問し、健康管理と職場環境確認をする。年間約50万円を計上。医師会基準による適切な契約額。



問 ガバメントクラウド使用料の増加理由は。

答 令和8年度からシステム移行に伴い費用増。移行後は村の自己負担となるため、国の財政措置を注視していく。

問 区長兼任の集落支援員報償費が上限40万円に達していない理由は。

答 活動経費を含めた制度として予算を計上しているため。

問 大好き隊活動車の運用状況は。

答 報告書作成の徹底と3月に安全運転講習会を実施予定。車両の私利用は当面現行運用を継続し、状況に応じて見直しを検討する。

問 込地公民館の撤去と再建設の見通しは。

答 盛り土時期が不確定なため、今年度は撤去と設計費のみ計上。再建設は未定。



問 感震ブレイカーの補助制度の周知状況は。

答 今後さらに周知を図っていく。

振興課関係

問 雲根地区農道拡幅工事の目的は。

答 農地の耕作条件改善が主な目的。駐車場設置は計画していない。

問 いくさかの郷の材料費増額理由は。
答 物価高騰ではなく、施設の使用料収入の増加見込みによるもの。

問 松くい虫防除対策の予算増額の理由は。

答 県の補助内示の増によるもので、村内被害の急増ではない。

令和8年度生坂村営バス特別会計予算

問 運転手の人数、管理体制は。
答 委託先に一任しており、適切な運用を求めている。

令和8年度簡易水道事業会計予算

問 将来的なAーや集中管理システムの導入の可能性は。
答 費用対効果を踏まえ研究する。

令和8年度下水道事業会計予算

問 受益者負担金の内訳と、個人合併浄化槽設置補助の周知・支援のあり方は。

答 新設分担金は1件分を計上。周知・支援のあり方は検討していく。

簡易水道基盤強化についての請願

必要性は高いとの認識から、全員賛成により採択すべきものと決定。

3月定例会でこんなことが決まりました

生坂村消防団員等工務災害補償条例の一部を改正する条例案

消防団員がけがや病気になった際に支給される補償金額を引き上げる条例改正。

例えば、消防団員が訓練中にけがをして入院した場合、これまでは1日あたり最大14,500円だった療養補償が、改正後は最大15,000円に引き上げられます。また、扶養している家族がいる場合の上乗せ額も、1人あたり100円から433円に大幅に増えます。



一般会計予算 地域活性化起業人制度 946万3千円(総務省から)

民間企業の人材が自治体に派遣または副業として関わり、専門知識を活かして地域課題の解決を支援する国の制度。

今年度の成果として、派遣型ではAI活用に関する研修・啓発活動を役場職員や学校、商工会等に実施。来年度は住民向けAI講習も検討しています。副業型では脱炭素事業や空き家バンクの情報発信、防災計画の見直しなどに専門的な助言をいただきました。これらの成果を踏まえ、来年度も契約を継続する予定です。

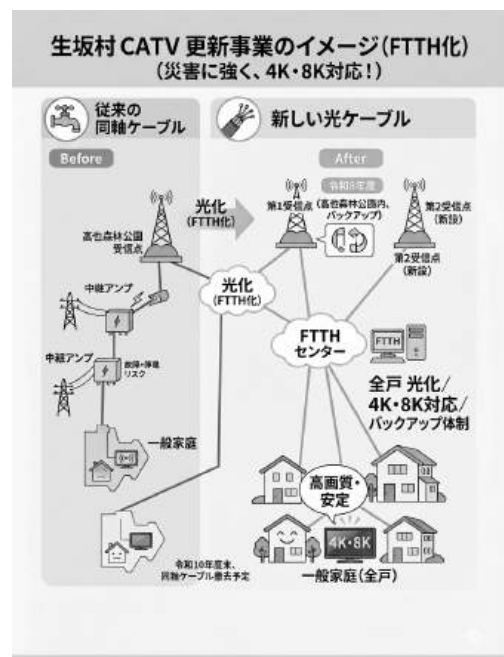


CATV更新工事 1億8,432万1千円(3か年計画総事業費:4億2,000万円)

村が運営するケーブルテレビ(CATV)の設備を、令和8年度から10年度の3年間で全面的に更新します。現在は同軸ケーブルという方式で映像を送っていますが、これを光ケーブルに切り替えます。光化により途中の増幅器(アンプ)が不要になるため、これまで多かった視聴障害が大幅に減少します。また4K・8Kなど高画質放送への対応も可能になります。

さらに、現在は受信局が1か所しかないため、そこで停電や故障が起きると村全体でテレビが映らなくなってしまいます。令和8年度に高津屋森林公園内に第2受信点を整備することで、万が一の際もバックアップとして全村をカバーできる体制を整えます。

工事は3年計画で進め、最終年度に古い同軸ケーブルを撤去して完了する予定です。災害に強く、大容量データを素早く送れる安定したネットワーク環境の実現を目指します。



社会文教常任委員会

連合審査

松塩木曾老人福祉施設組合同規約の変更

問 四賀福寿荘が令和9年度に閉鎖される。生坂村から入所されている方はどうなるのか。

答 受け入れのためサンライフ麻績の定員を増やしているが、民間事業者になった時の対応がまだ分からない。福寿荘閉鎖を前提に、周辺の施設で受け入れていく。

生坂村特定乳児等通園支援事業「子ども誰でも通園制度」の運営に関する基準を定める条例

問 保育料は無償化になるが、子ども誰でも通園制度は料金がかかるか。

答 通園支援事業という新たな事業で、料金が発生する。

問 一時預かり保育と子ども誰でも通園制度が両方無理なく行えるか。

答 それぞれの制度と医療的ケア児の利用も考慮し、8年度からは専任で保育士を1人確保し無理なく行う。

令和8年度生坂村一般会計予算

教育委員会関係

問 保育園に障がいがある方用の駐車場をつくる。どこにつくるのか。

答 職員が駐車している正面玄関の方が平らなので、そちらにつくる。

問 保育園の駐車場が増やせないか。

答 道を挟む駐車場だと、子どももの横断時に危険。新設には動線と今後の子どもの数を考慮する必要がある。

問 部活の地域展開で、外部指導員の報酬費が出ている。バドミントンと吹奏楽の指導員1人ずつの予定か。

答 その予定であるが、増えることもある。

問 一星亭について、令和7年度で元気づくり支援金が終わる。今後の方性は。

答 大好き隊や協力いただける方を募り、定期清掃や換気をして今の状態を維持する。あり方については今後しっかりと協議をする。

住民課関係

問 電算委託料1120万2千円とは。

答 税金システムの維持管理費、税制改革に対応したシステム改修費と、エルタックスという地方税ポータルシステムも含まれる。今後様々な通知書の電子化が予定されており、デー

タで受取を選ぶ人が増えると、郵送料が減ることも期待される。

問 就労センター管理費が増加しているのはなぜか。

答 指導員の処遇改善と、指導員が1人増えるため。

問 リチウムイオンバッテリーの捨て方は。

答 令和8年度からは役場で乾電池と同じように回収する。

問 墓じまいなどで、墓地の区画を返したいときに返還金はあるか。

答 村に返すときは墓石を片付けていただいているから返還してもらおう。返還金はない。

健康福祉課関係

問 県単福祉医療費の助成対象は。

答 精神障がい者手帳1、2級をお持ちの方の入院費用。通院費用は既に対象となっている。

福祉センター特別会計予算

問 木質チップやペレットは燃料費

698万2千円の中に含まれるか。

答 含まれる。木質チップは1トン

税込み2万7500円で、年間約120トンを見込む。ガスボイラーも予備としてあるので、ガス代も燃料費に入っている。

問 看板を新しくするなど、広報に

もっと力を入れては。

答 山村活性化対策事業補助金で広告費を使い広報している。来年度も使えるので、環境にやさしい宿として売り込んでいきたい。看板については検討する。

陳情

MRNA（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書について

「コロナワクチン接種後短期間で死亡者数が増している」とのデータから、接種事業中止の意見書提出を求める陳情書。

・MRNAワクチンと健康被害の因果関係がはっきりしないという理由で、全議員賛成で継続審議と決定。

消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬などの薬の追加負担を行わないことを求める陳情書について

OTC類似薬には、窓口負担とは別に特別料金が薬剤の25%かかるようになる。追加負担を行わないよう求めるもの。

・趣旨に賛同し、賛成多数で意見書を提出すべきと決定。

☆OTC類似薬とは、カウンター越し（薬局等）に買える薬。ロキソニンやアレグラなど約1100品目77種類が対象。

3月定例会でこんなことが決まりました

高校生の電車通学補助 90万円

村営バスの補助に加え、電車の通学費を定期券の半額まで、年間3万円上限で補助する。

→ 電車補助申請は教育委員会へ



小中学校徴収金の公金化 167万4千円

学習ドリルや教材など、集金して買っていた消耗品を公費で買う。教員の事務負担軽減にも繋がる。



小学校学習支援員・専科教員合わせて 1231万円(財源:過疎債ソフト分)

学校側から理数系の先生が要望された。理科は実験や植物を育てる等負担があるので理科専科の先生に来てもらう。



遠隔医療相談アプリの導入 143万円

アプリをダウンロードして、チャット中心で症状を相談し、400名超登録している医師から返信がもらえる。けがの状態など写真送付も可能。

今回の導入は「医師による助言まで」の医療相談アプリで、遠隔診療・処方是对象外。保健師等の一般相談より一歩進んだ体制。村民は利用料無料。

Q アプリなどの使い方に慣れない高齢者はどうしたらいいか?

A スマホ予備校などで使い方を学んでもらう、また、家族の助けを得ることを想定。



重層的支援体制整備事業 1984万9千円(うち1230万円は国・県から)

「いくつもの困りごと」が重なっている人は、これまで相談窓口がバラバラでどこに行けばいいかわかりにくかったが、ひとつの窓口で、どんな相談でも受けられるように整備をする事業→ だから「重層(いくつも重なる)支援」と言う。

例「お金の相談に来たけど、実は子育ても大変で、おばあちゃんの介護も必要」

重層的支援体制整備事業の一環として…
はるかぜを平日毎日開けて、居場所や相談窓口をつくる取り組みが始まる。
お風呂も継続して使えるようにする。



議案等の審査結果

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…除斥 議長…※

令和8年3月定例会 審議した議案との結果		結 果	進 藤	望 月	島	山 本	太 田	平 田	市 川	藤 澤
報告	専決処分の承認を求めることについて（議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例） 人事院勧告により、議会議員の手当年間支給率が3.45月分から3.5月分に引き上げられる	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	専決処分の承認を求めることについて（特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例） 人事院勧告により、特別職職員の手当年間支給率が3.45月分から3.5月分に引き上げられる	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	専決処分の承認を求めることについて（一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例） 初任給引き上げなど一般職職員の給与改定。通勤手当、期末手当、勤勉手当も引き上げ	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度生坂村一般会計補正予算【第6号】） 人事院勧告により給与・手当を引き上げたことによる人件費の補正	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度生坂村福祉センター特別会計補正予算【第1号】） 給与・手当を引き上げたことによるやまなみ荘職員人件費の補正73万2千円。	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度生坂村介護保険特別会計補正予算【第3号】） 給与・手当を引き上げたことによる職員給与の補正で、補正額は13万5千円	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度生坂村簡易水道事業会計補正予算【第3号】） 給与・手当を引き上げたことによる簡易水道事業に関わる人件費の補正で、補正額は14万8千円	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度生坂村一般会計補正予算【第7号】） 第51回衆議院議員総選挙に伴う経費362万1千円	承認	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村過疎地域持続的発展計画の変更について 計画期間を令和8年～12年度までの5年間に更新、人口や財政状況などの基礎データを最新化	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
	生坂村社会福祉施設他14施設の指定管理者の指定について 社会福祉協議会は令和11年まで（3年）、その他は令和8年～13年までの各施設の管理者を指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	※
松塩筑木曾老人福祉施設組合規約の変更について 施設組合経費をより公平で実態に即した負担構造、入所者割に統一する	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例案 「子ども誰でも通園制度」の適切な運営基準を定めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村行政手続条例の一部を改正する条例案 不利益処分の名宛人となるべき者の所在が判明しない場合の「通知方法」の見直し	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案 公立学校医の報酬を内科医で8万円から10万円、整形外科医で4万円から7万円に改めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例案 職員の自動車通勤は距離に応じた支給（上限66,400円）とし、駐車場利用月額5千円を認める	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村B&G海洋センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案 村外者が施設利用時、利用料の単位を午前・午後・夜間から1時間ごとに改定するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村子育て支援センター施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案 びよびよ広場（当施設）を村外団体が使用時に使用料を1回あたり2000円と定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村国民健康保険条例の一部を改正する条例案 社会全体で子育て世帯を支えるため、国保税から支援金を拠出する仕組みをつくるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村介護保険条例の一部を改正する条例案 制度により課税される非課税世帯の保険料を令和8年度に限り減免できるという特例を追記	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村火入れに関する条例の一部を改正する条例案 林野火災注意報発令中、火入れができないようにするもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案 国の制度改正に準じ公務災害の補償基礎額を引き上げるなど、見直しをするもの → P7へ	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和8年度生坂村一般会計予算 主なもの P2～P9	可決	○	×	×	○	○	○	○	※	
令和8年度生坂村営バス特別会計予算 村営バスの一般管理費や運行管理費について、歳入歳出予算の総額を5460万円とするもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和8年度生坂村福祉センター特別会計予算 やまなみ荘の経営管理費等について、歳入歳出予算の総額を1億1830万円とするもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和8年度生坂村国民健康保険特別会計予算 歳入歳出予算の総額を2億3940万円とするもので、子ども子育て支援納付金が追加される	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和8年度生坂村介護保険特別会計予算 歳入歳出予算の総額を2億6560万円とするもので、前年度と比較し1320万円の減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和8年度生坂村後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出予算の総額を4040万円とするもので、前年度と比較し610万円の増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和8年度生坂村簡易水道事業会計予算 収益的支出7730万円に排水及び給水費等、資本的支出9727万2千円に布設替え工事費等含む	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和8年度生坂村下水道事業会計予算 収益的支出7870万円は農集・浄化槽営業費用等、資本的支出4910万2千円は企業債償還金等	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和8年度簡易水道基盤強化予算確保に関する意見書採択を求める請願書 請願者：全国簡易水道協議会 会長：北村 政夫 紹介議員：山本 吉人	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
mRNA（レプリコワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書 陳情者：宇井 淳 千葉県旭市	継続 審査	○	○	×	○	○	○	○	※	
消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情 陳情者：長野県社会保険推進協議会 代表委員：宮沢 裕夫、佐野 達夫、細尾 俊彦、ほか3名	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村農業委員会委員の任命について ※10議案 農業委員10人の任命について 任命期間：令和8年5月18日～令和11年5月17日	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和7年度生坂村一般会計補正予算【第8号】 歳入歳出をそれぞれ1億2,571万5千円減額し、総額36億9847万5千円とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和7年度生坂村営バス特別会計補正予算【第1号】 主に事業確定による不用額を50万円減額し、歳入歳出それぞれ5400万円とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和7年度生坂村福祉センター特別会計補正予算【第2号】 主に事業確定による不用額を60万8千円減額し、歳入歳出それぞれ1億732万4千円とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和7年度生坂村国民健康保険特別会計補正予算【第2号】 主に事業確定による不用額を5379万8千円減額し、歳入歳出それぞれ1億9789万2千円とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和7年度生坂村介護保険特別会計補正予算【第4号】 給付費・事業費の実績見込みに合わせて53万5千円追加し、歳入歳出を2億9403万8千円とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和7年度生坂村後期高齢者医療特別会計補正予算【第2号】 実績見込みに合わせて188万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ3709万5千円とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和7年度生坂村簡易水道事業会計補正予算【第4号】 実績確定と漏水調査委託料等の増額、工事設計委託料減額等反映させ増減補正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和7年度生坂村下水道事業会計補正予算【第2号】 使用料見込みの下方修正と工事請負費確定に伴う支出減で収支調整するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村議会委員会条例の一部を改正する条例案 課設置条例との整合を図るため「健康福祉課」を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
生坂村議会会議規則の一部を改正する規則案 同一議員による同一の議題についての質疑制限回数を2回から3回に変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	
簡易水道基盤強化のための令和8年度予算確保を求める意見書	提出	○	○	○	○	○	○	○	※	
消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める意見書	提出	○	○	○	○	○	○	○	※	

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって所見を求め、疑義を質すこと、あるいは政策を提言することです。QRコードから動画視聴もできます！

答弁者 **村**…村長 **副**…副村長 **総**…総務課長 **振**…振興課長 **住**…住民課長
健…健康福祉課長 **教**…教育長 **次**…教育次長


- 平田勝章議員
 - ① 環境整備・農業への担い手不足と農業公社の役割について
 - ② 一人住まいの安否確認について
- 進藤 彩議員
 - ① 人と仕事をつなげる仕組みづくりについて
- 太田 讓議員
 - ① 中学校部活について
 - ② 脱炭素事業について
- 山本吉人議員
 - ① チャレンジできる村、チャレンジする村「生坂村」にしていこう。その3

- 島 幸恵議員
 - ① 財政状況と交付金事業について
 - ② 学校関係について
 - ③ 個別避難計画について
- 望月一将議員
 - ① 補助金事業における統治体制と成果管理について
 - ② 主食用米の安定供給に関する本村の対応について
- 市川寿明議員
 - ① 2030年代を見据え諸課題の対応について

中古農業機械の有効活用を
問 離農や死去により不要となった農機具が安価に外部へ売却されている。公社で中古農機の購入と、困っている人に貸し出す事業ができないか。
振 保管場所の確保、整備点検費、事故時の責任所在などの課題がある。汎用性の高い機械に限定した短期間貸出や、利用料で維持費を賄う仕組みなど、制度設計の可能性について農家の意向調査を含め研究していきたい。


振 持続可能な運営のために「受け入れ基準」を明確化し、効率的な作業が可能な農地を優先することを検討する。人的体制の強化策として、地域おこし協力隊の農業支援への募集、農繁期の臨時雇用、新規就農者の育成支援を検討していきたい。また、小規模農地の受託困難については、地域計画に基づき農地の集約化や集団化を進める必要性がある。

問 人口減少と高齢化により、自ら耕作できない農家に代わって農業公社が担う面積が5年で約50%増加している。公社の運営がパンクするのではないかと懸念している。



平田勝章議員

農業公社の農地受け入れ基準は
 振興課長 今後基準を明確化する



健 保健師や「大好き隊」が150名以上の対象者を月1回程度訪問し、孤立防止に努めている。緊急時の安否確認は、本来は家族が役割を担うべきであるが、村では平成26年から緊急通報装置（監視カメラや警備会社連携）の導入補助を実施している。今後も周知に努める。

村 福祉の村づくりを重点施策とし、地域での支え合いや既存の制度を徹底することで、安心して住み続けられる村づくりに取り組んでいきたい。

高年齢者の安否確認と福祉施策は
問 独居高齢者が倒れて発見が遅れた事例がある。安否確認体制の強化が必要では。
振 経営の安定や雇用確保に有効な手段であると認識している。村内では既にブドウ栽培等で法人化の事例があり、水稲でも検討が進んでいる。意欲ある担い手に対し、国や県の補助事業の活用や専門家の紹介といった側面的な支援を検討したい。

問 農業の法人化への支援についての可能性は。
振 経営の安定や雇用確保に有効な手段であると認識している。村内では既にブドウ栽培等で法人化の事例があり、水稲でも検討が進んでいる。意欲ある担い手に対し、国や県の補助事業の活用や専門家の紹介といった側面的な支援を検討したい。

農業の法人化への支援を



進藤彩 議員

生活を支える事業者への支援策は
振興課長 三つの柱で支援を進めている



問 新たに作成された「観光ガイドマップ」は見やすく魅力発信に優れている。一方で、「暮らし」の視点に関する情報は今後さらに充実が期待される。観光とは直結しないが、修理関係や庭の手入れなどの生活を支える事業者や個人は重要な存在である。こうした分野への行政の支援のあり方と考えは。

振 地域で活動する事業者や個人は、暮らしと地域経済を支える重要な存在と認識している。行政の支援は三つの柱で進めており、第一に制度による支援として、商工会と連携した経営相談や経営支援、商品券事業による地域内消費の促進を実施。第二に情報の支援として、国や県の補助制度の周知と相談対応を行い、活用しやすい環境づくりを進める。第三に、事業者と住民ニーズを結び付ける「つなぐ支援」により、地域内で仕事が循環する仕組みづくりを検討。さらに地元事業者の活用や高齢者の技能活用も視野に入れ、環境整備を通じた支援に取り組む。

問 地域の仕事や生活情報をまとめた「生活ガイドマップ」の作成を提案。見える関係づくりによる安心感の向上や、地域内経済の循環促進を目的とする。観光に関する発信に続き、小規模事業者など暮らしを支える情報も整理・発信することで、住民同士の支え合いを強化するとともに、移住希望者にも具体的な生活像を示す。観光情報に加え、暮らしの基盤を伝える冊子としての整備を求める。

村 観光ガイドに加え、暮らしの情報発信の重要性を認識。修理や庭の手入れ、地域の小規模事業者などの情報は、高齢者や子育て世帯、移住希望者にとって具体的な暮らしのイメージをするための大切な要素となる。こうした暮らしを支える情報は、日常生活の質を高めるとともに、地域での支え合いを可視化する役割も担う。商工会と連携し、掲載同意や公平性、更新体制などの課題に配慮しつつ、冊子作成やホームページ連動、データベース化を含め検討を進める。地域のつながりを生む仕組みづくりを目指す。



太田譲 議員

脱炭素先行地域づくり事業期間終了後
の村の方向性は
村長 2050年のCO2排出実質ゼロに向け村
の重点事業の一角を成すものとして推進している



部活動の地域展開について

問 既存の部活としてあるバドミントン部・吹奏楽部を地域展開としてスタートするとのことと、その検討経過・移行後の流れは。

教 学校部活動の地域展開は、地域全体でスポーツ・文化芸術活動の在り方を見直す改革で、子どもたちが地域で安心して活動できる環境構築が重要。まずは現在あるバドミントンと吹奏楽で多世代参加型の認定地域クラブの立ち上げを目指した。

問 認定地域クラブの参加費は家計に配慮することとだが、他の地域クラブや社会体育団体との公平感はどう考えるか。

教 地域展開は、これまで学校が担ってきた活動を地域で確保する行政責任の二環と考える。それぞれの理念や目的を持った任意団体の活動は尊重するが、制度上の位置づけは異なる。近隣自治体の認定地域クラブに参加する生徒には必要に応じて一定の支援の在り方を検討する必要があると考える。いずれにせよ、認定地域クラブ

の安定運営を最優先に考えながら、公平性の均衡を図っていく。

脱炭素先行地域づくり事業について

問 脱炭素先行地域作り事業の進捗状況と事業に対する村の捉えと外部評価は。

村 これまでの達成状況として、PA事業の2月末契約数は146件。村の事業として上生坂区マイクログリッド事業・村営やまなみ荘や保育園の省エネ改修事業・各区では充放電設備8区の設定、また、やまなみ荘チップボイラーの稼働等が進んでいる。各家庭への省エネ機器等の導入は、今年度までに累計99件、木質バイオマスストーブ10件で、概ね順調に推移している。外部の見解は、先月に実施された環境省中間ヒアリングにおいて、中間時点までの当村の事業の進捗について報告を行い、脱炭素先行地域事業選定委員から、一定の評価をいただき、今後3年間についても、現状の推進をご期待いただいている。



山本吉人議員

やぎ牧場など動物を使った村おこしはできないか
村長 創造の森を進める地区でのやぎ牧場は可能と考える



問 近年生坂村に移住された方、またこれから移住を考えている方も生坂村の自然、田舎の雰囲気魅了されてのことだと思つう。山、川、谷と自然豊かな生坂村にやぎ牧場のある風景がプラスされれば、さらに魅力的な村になると考える。休耕地などを利用したやぎ牧場はできないか。
振 休耕地の増加による休耕地の活用方法は本村でも大きな課題である。やぎ牧場については、飼育・維持管理などの研究が必要と考えている。また地域おこし協力隊制度活用や民間事業者によるチャレンジ事業としては研究の余地はありと考える。

問 草刈り隊としてやぎの活用はできないか。
振 草刈り隊としてやぎの効果は急斜面や人手不足等には一定の効果はあると考へている。導入するにあたっては、放牧の管理の仕方、費用対効果の検証をしなければいけない。
問 観光としてのやぎ牧場があつてもいいと考へるが。
振 観光資源との動物とのふれあいは観光集客に一定の効果があると認識している。効果を持続させるには道の駅や体験プログラム、やぎの乳製品、やぎへのエサやり等付加価値を持たせれば継続的な集客も可能と考へる。
問 やぎ飼育に補助金を出している自治体もある。補助金は可能か。
振 現在該当する補助金はない。設立については、公平性・費用対効果などを考へなければいけない。
問 やぎ飼育でのビジネスもありと考へるが。(繁殖など)
振 意欲のある方がいれば、現状ある制度で支援できるが、村としては考へてはいない。
問 創造の森の対象地区でのやぎ牧場は可能か。
村 雲根地区の創造の森では生物多様性の取り組みをしている。やぎの放牧は可能であると考えている。

問 やまなみ荘太陽光発電設備が5ヶ月間送電していなかった。損失額は。議会へ報告すべきだったのでは。
住 損失額は概算で50万円程度。報告は今後改善すべき点。
問 公民館に設置予定のEV充放電設備費を、蓄電池や省エネ機器など他用途に流用できないか。
総 国の補助金のルール上、EV充放電設備(基盤整備)の費用を省エネ機器導入へ流用することはできない。
意見 基盤整備のもので、災害時等確実に使えるものへ変更を。
問 EVバスの運行状況は。
総 急にエンジンが始動しない、エラー漏れによる不具合、走行不能状態などが発生。その都度点検・修繕を行い、安全第一で運行している。
問 導入されたEVモーターズジャンのミニバスはリコール対象では。
総 対象だが、昨年9月に国交省の指示で点検・修理済み。リース終了後も継続使用を考へているが、車両状況を鑑み今後検討していく。

問 北回りと南回りの2台体制でスクールバスの運行ができないか。
次 財政負担や運転手確保の問題から、当面専用車両1台で効率的な運行を継続する。
問 令和8年度で中学校での部活動が終了する。放課後の生徒の居場所づくりと、地域クラブへの移行についての考へは。村外クラブに参加する生徒への補助や活動場所は。
教 B&G海洋センターを主な活動場所とし、村外クラブへの補助や運営形態は今後設置の協議会で検討。
問 小中一貫校の校舎のあり方を、小中学校に設置済みの太陽光発電設備の扱いと合わせてどう考へるか。
教 令和8年度から校舎の検討会議を設置し検討する。太陽光発電設備は、メンテナンスの上使用を継続。
問 村奨学金を他奨学金と併用可能にし、選考委員会を廃止しては。
教 公平性・透明性、予算を考慮し、併用はせず、選考委員会も継続する。
問 健康福祉課を中心に、要支援者のための個別避難計画を策定している。村全体の策定スケジュールは。
健 今後3年から5年をかけて、村全体の個別避難計画を策定する。



島幸恵議員

脱炭素事業の過疎債実質負担分は誰が払うのか
村長 今後村と株いっしょかていっしょ協議して決定する





望月一将議員

（株）いくさかてらすの運営責任と
行政の関与は
副村長 運営責任はてらすが負い、行政
は報告聴取と補助金執行の確認を行う



補助金事業の統治と成果管理について

問 山村活性化対策事業の設計主体と地域団体の関与は。

振 村が主体となり設計。地域団体から提案を受けながら協働で進めている。行政が全体管理、外部専門機関が技術支援、やまなみ荘や観光協会等が実践を担う体制。

問 成果指標と自走化の見通しは。

振 新商品4品・雇用4名・体験参加者150名を3年目標に設定。1年目に基盤整備、2年目に販路拡大、3年目に自走準備と段階的に地域主体へ移行する。



高齢者世帯を含む支援は教育委員会・健康福祉課・振興課等が連携し、世帯ごとの課題を把握した上で必要な支援につなげていくべき。

主食用米の安定供給について

問 米価高騰による村民生活への影響をどう認識しているか。

次 子育て世帯への米配布の申請割合は開始以来約3割で安定推移しており、現時点で顕著な変動はない。ただし今後申請が増加した場合には配布量の見直し等を検討する。

問 主食用米の安定供給に向けた農業公社の強化と関係部署の連携は。

答 農業公社については人員・規模等の課題を研究しながら拡充を検討する。

提案 高齢者世帯を含む支援は教育委員会・健康福祉課・振興課等が連携し、世帯ごとの課題を把握した上で必要な支援につなげていくべき。



市川寿明議員

2030年代を見据えた諸課題対応を
組む 村長 多様なご意見を伺いながら取り
組む



第6次総合計画の下に村づくりを進めている村政運営。そんな中、現在取り組んでいる脱炭素推進事業は当初計画になく、R5年度からの実施経過だ。この超大型事業の導入・執行による影響は出ていないか。職員の増員体制は、一部に超過負担となっていないか等懸念するが。

村 職員を増員して対応しているが、仕事が増えていることは否めない。職員の労働環境も注視し、産業医もお願いしながら労働環境の維持、改善を進めていきたい。

問 現況のもとに浮き彫りとなってきた問題で、私が課題に感じている事案について、以下に数点認識を伺いつつ私案も提起したい。①役場庁舎や駐車場の狭さの解消策は。

村 重要な課題と認識。執務スペース等不足を生じており、駐車場も改善の必要を感じている。中長期的には規模の適正化などを検討したい。

問 ②かあさん家の職員及び「道の駅」繁忙期の来客者対応の駐車所確保の問題は。

村 駐車場の不足が生じている。周

辺未利用地の一時活用の可能性について考えたい。

提案 当初の道の駅の建設対象エリア（県道の北側一帯を「コミュニティープラザ」目的の公共施設広場建設とし、農振の除外を図れば。

問 ③小学校の将来像は。
村 一貫教育の導入から一定期間が経過する。その教育効果を検証した上で検討を開始する予定。

提案 統合方向になり、小学校棟を（中学校に）増設検討なら、一星邸の一部和室などを収容しながらのリノベーション校舎の模索も。

問 気軽に村の明日を語り合える場が欲しいという村民の声がある。次期総合計画に向け、村民参加の「協同の協議会」を設置することが、暮らしに希望ある村づくりに繋がるのでは。

村 協議組織の設置趣旨は十分理解するが、現時点では新たに設置する考えはない。引き続き多様なご意見を伺いながら取り組んでいきたい。

議 会 日 誌

(主なものを掲載)

2月

- 9日 松本広域連合議会定例会（松本市）
- 10日 東筑摩郡村議会議員交流会（朝日村）
- 12日 穂高広域施設組合議会運営委員会（安曇野市）
- 13日 安曇野松筑広域環境施設組合議会定例会（安曇野市）
- 16日 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会定例会（塩尻市）
議会全員協議会 議会DX講習会
- 17日 穂高広域施設組合議会定例会（安曇野市）
- 18日 町村議会議長会第42回定期総会（飯田市）
- 19日 令和7年度東筑北部三村老連交流会
議会DX講習会
- 24日 地域支え合い推進会議
- 25日 議会運営委員会
ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 27日 例月出納検査

- 15日 生坂村宮福祉センターやまなみ荘改修工事竣工式
- 16日 議会全員協議会 議会だより編集委員会
- 17日 小学校卒業証書授与式
本会議・追加議案上程
- 18日 中学校卒業証書授与式
3月定例会・閉会
議会全員協議会
- 19日 社会福祉協議会理事会
- 23日 北アルプス医療センターあづみ病院運営委員会
- 24日 福祉センターやまなみ荘運営委員会
- 25日 保育園卒園式
ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 26日 議会だより編集委員会 学校給食運営委員会
- 27日 (公財) 生坂村農業公社評議員会
例月出納検査 社会福祉協議会評議員会
- 30日 生坂農業未来創りプロジェクト会議

3月

- 5日 議会全員協議会
- 9日 3月定例会・開会
- 10日 本会議・一般質問
- 11日 総務建経常任委員会
- 12日 社会文教常任委員会

4月

- 3日 保育園入園式
- 7日 小・中学校入学式
- 9日 議会だより編集委員会
- 20日 議会全員協議会

議会だよりモニターさんより

ご意見を頂きました！

8人の方が議会だよりモニターになってくださり、前号172号についてご意見を初めて頂きました！どの方も議会だよりをしっかりと読んでご意見や提案をくださったことが感じられ、とてもありがたいと思えました。頂いたご意見をしっかりと反映させ、より読まれる、分かりやすい議会だよりにしていきたいです！

モニターさんご意見から、改めて読みにくい漢字にはふり仮名をふる

● 分かりにくい言葉は注釈を入れる
とこのことに気を付け、編集作業を行いました。こんな記事が読みたい！という提案も頂き、できるものは少しずつでも取り入れていけたらと考えています。

モニターは今号で一旦任期が終わります。再任は妨げませんので、続けて「モニター」をやってもいいよ！という方はお知らせください。また、まだモニターを募集しています。

メール 193kagikai@gmail.com

議会事務局に電話09-3-1111

または議員にお知らせください。

編集後記

今回の議会だよりは、9月号に続いて脱炭素事業を特集にしました。目に見えるものばかりが現実とは限りませんが、見えにくいものほど、その輪郭を確かめることは難しくなります。

委員会でのやり取りを含め、いま村で起きていることを、ひとまずそのまま並べてみました。読むうちに、それぞれの位置や形が少しずつ浮かび上がってくればと思います。本紙が、その手がかりの一つになれば幸いです。
(望月一将)

編集・発行責任者

議長 藤澤 幸恵

編集委員

委員長 島 幸恵

委員 山本 吉人

委員 太田 譲

委員 望月 一将

委員 進藤 彩

リニューアル やまなみ荘

改修工事費総額 2億1615万円

内訳

- 厨房・浴室改修 8120万9000円（過疎対策事業債）
- LED・省エネ機器設置 1億3494万9100円【脱炭素事業】
（8178万7000円環境省から、残りは過疎債）

畳・天井クロスの張替え、
照明・エアコンの更新



大広間

壁紙を緑、柱をブラウン、
カーテンをベージュに



食堂

食堂メニューに
月替わりパスタが
登場!



月替わりパスタ

シャンデリアと間接
照明からLED照明に



大ホール

やまなみ荘は令和8年1月14日
から3月14日まで休館し、改修工事
を行いました。

浴室のボイラーはガスから木質チップボイラー
に、厨房の機器を更新し、大ホールや大広間には
脱炭素事業補助金を活用してLED・省エネ機器を
設置しました。

大浴場



浴室の木質チップボイラーは自然にやさしい
燃料で、ラジウムとの相性もよく、お客様から
とても温まると感想をいただいています。また
新しくなった機器とレイアウトを変えた厨房
から美味しい料理をお届けします！装いを新
たにした食堂を気持ちよくご利用ください！

支配人 小坂部 元



新メニュー

木質チップボイラーを接続
天井・壁の貼り替え



脱衣所

床や壁、天井、洗面台
やトイレを更新し、
エアコンを設置

売店



駄菓子コーナー登場!

厨房



機器とレイアウト
を更新

昨年のハンガリーイベントで
好評だったハンガリーチキン
が新メニューに!